

## 2014 年度 小委員会活動成果報告

(2015 年 2 月 6 日作成)

小委員会名	海外組積造耐震性検討小委員会		主 査 名：花里利一 就任年月：2011 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (壁式構造運営委員会)		委員長名：緑川光正 主 査 名：稲井栄一
設 置 期 間	2011 年 4 月 ～ 2015 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ (設置目的) 国内外の各機関による活動とその成果に関する情報と知見の共有化を図りつつ、途上国組積造住宅の地震災害軽減に資する技術資料を作成する。 (活動計画(当初計画))</li> <li>・ 2011-2012 年度 海外地震災害調査の実施および被害事例、耐震評価法、補強法に関する研究成果の文献調査、各国・国際機関の規準類の収集と整理</li> <li>・ 2013-2014 年度 海外地震災害調査の実施、技術資料の作成と国際シンポジウムの開催</li> </ul>		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無 主査：花里利一(三重大学) 幹事：黒木正幸(大分大学) 委員：菊池健児(大分大学)、五十嵐泉(神奈川大学)、中村友紀子(千葉大学)、今井弘(防災科研)、中川貴文(国総研)、箕輪親宏(トモエ技研)、榎府龍雄(JICA)、北茂紀(北茂紀建築構造事務所)、真田靖士(大阪大学)、崔琥(東京大学)、山口謙太郎(九州大学)、松崎志津子(千葉大学)、前島彩子(明海大学)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2014 年度予算	200,000 円	ホームページ公開の有無：無(準備中) 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	7 回 (年度内計画を含む)
刊行物 <small>(シンポジウム資料等は除く)</small>	
講習会	
催し物 <small>(シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会承認企画</small>	
大会研究集会	1. PD：海外組積造住宅の地震災害軽減化とその課題 『構造部門パネルディスカッション：同上』 参加者数 97 名
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 <small>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</small>	1. 委員会は計画より 1 回多く、計 7 回開催し、情報の共有化を活発に進めた。 2. 英文技術資料の原稿を作成した。この原稿を基にして、今後、出版用に編集する。 3. 大会 PD を担当し、技術資料の作成や今後の活動について有用な討議が行われた。大会 PD は当初計画の国際シンポジウムの代わりとして開催した。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 委員会は計大会期間も含めて計 7 回開催したが、旅費の関係から運営委員会、他の小委員会や WG と同日に開催している。開催日や時間の調整が難しく、出席者数は必ずしも十分とはいえない。 2. HP 等のインターネットを通じた広報活動は課題のまま残された。